

出題のねらいと正答例・正答率一覧表

問題番号	小問番号	出題のねらい	正答例	観点	正答率 (%)
【1】	①	(2位数) + (1位数) の計算をすることができる。	9 1	知技	90
	②	(2位数) - (1位数) の計算をすることができる。	3 9	知技	87
	③	(2位数) + (2位数) の筆算をすることができる。	7 0	知技	88
	④	(2位数) - (2位数) の筆算をすることができる。	5 6	知技	72
【2】	⑤	かさの計算をすることができる。	4、1 (完答)	知技	81
	⑥		2	知技	76
【3】	⑦	ある時刻を表す時計を正しく選ぶことができる。	㊦	知技	91
	⑧	ある時刻からある時刻までの時間を求めることができる。	3	知技	63
【4】	⑨	1000までの数の構成について理解している。	9 8	知技	71
	⑩		2 0	知技	75
【5】	⑪	数量の関係を図に表すことができる。	㊦きた数 ㊦ぜんぶの数 3 6 人	知技	65
	⑫	逆思考の問題場面にあった式を考えている。	3 6 - 2 4 = 1 2、 1 2 (完答)	思	61
【6】	⑬	たし算の筆算の間違いを説明している。	(くり) 上 (がり)、 1、6 (完答)	思	76
	⑭	ひき算の筆算の間違いを説明している。	(くり) 下 (がり)、 6、2 (完答)	思	66
【7】	⑮	いろいろな図形の構成について考えている。	6	思	67
	⑯		8	思	50
【8】	⑰	かさくらべの仕方の間違いを説明している。	(例) 同じ大きさのコップで比べていない。 ※コップに入るかさの違いについて触れた記述があれば○	思	66
【9】 ☆	⑱	表やグラフから分かる特徴を考えて、それらを日常生活や社会の事象に活用している。	上から 2 つ目と 4 つ目に ○ (完答)	思活	49
	⑲		(例) おえかきが好きなのは、1 人だからよくない。※グラフの特徴に触れた記述があれば○	思活	31
	⑳		(例) ダンゴムシを触れない人数は、表から分からないから。※グラフからは、ダンゴムシを触れない人数が読み取れないことに触れた記述があれば○	思活	12
思活 「思考・判断・表現」を調べる(学んだことを日常生活や社会の事象に活用する)問題 (☆マーク) 思 「思考・判断・表現」を調べる問題 知技 「知識・技能」を調べる問題					平均 67

算数・数学実態調査

小学校	ばん
-----	----

【1】 計算を しましょう。

(1) $84 + 7 =$ ①

(2) $43 - 4 =$ ②

(3)
$$\begin{array}{r} 23 \\ + 47 \\ \hline \end{array}$$
 ③

(4)
$$\begin{array}{r} 70 \\ - 14 \\ \hline \end{array}$$
 ④

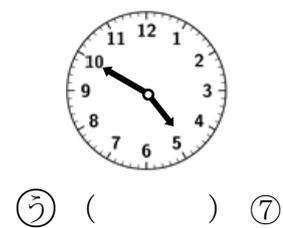
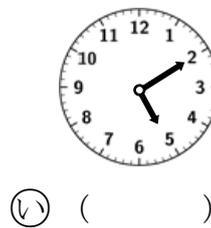
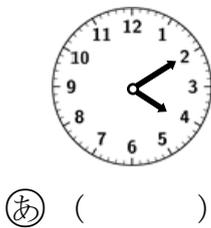
【2】 かさの 計算を しましょう。

(1) $4\text{ L } 3\text{ dL} - 2\text{ dL} =$ L dL ⑤

(2) $1\text{ L } 8\text{ dL} + 2\text{ dL} =$ L ⑥

【3】 時刻と 時間について 答えましょう。

(1) 4時10分は どれですか。正しいものを えらんで () に ○ を つけましょう。



(2) 家を出てから 家に 帰るまでの 時間は どれだけですか。

家を出る



午前11時



家に帰る



午後2時

	時間
--	----

⑧

【4】 980 という ^{かず}数に ついて に あてはまる 数を かきましょう。

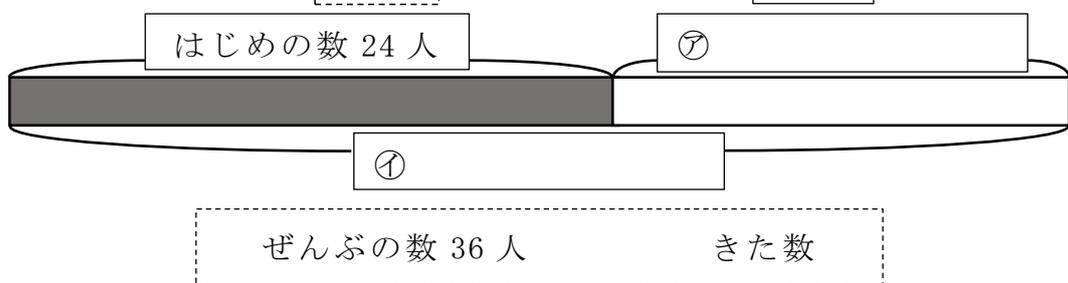
(1) 980 は 10 を こ あつめた 数です。 ⑨

(2) 980 は 1000 より ^{ちい}小さい 数です。 ⑩

【5】 つぎの もんだいに こたえましょう。

はじめに ^こ子どもが 24人 ^{にん} あそんで いました。
^{とも}友だちが きたので みんなで 36人 に なりました。
 友だちは ^{なんにん}何人 きましたか。

(1) この もんだいを ^ず図に あらわして ^{かんが}考えました。 図の⑦⑧に あてはまる ^{ことば}言葉を から えらんで に かきましょう。



⑪

(2) しきと こたえを かきましょう。

(しき) (こたえ) 人

⑫

【6】 かいとさんは つぎの ^{けいさん}計算の まちがいを ^{した}下の ように せつめい しています。 に あてはまる ^{ことば}言葉や ^{かず}数を かきましょう。

$$\begin{array}{r} 24 \\ + 39 \\ \hline 53 \end{array}$$

くり がりを わすれています。

十のくらは、 + 2 + 3 = に なります。

⑬

$$\begin{array}{r} 76 \\ - 48 \\ \hline 38 \end{array}$$

くり がりを わすれています。

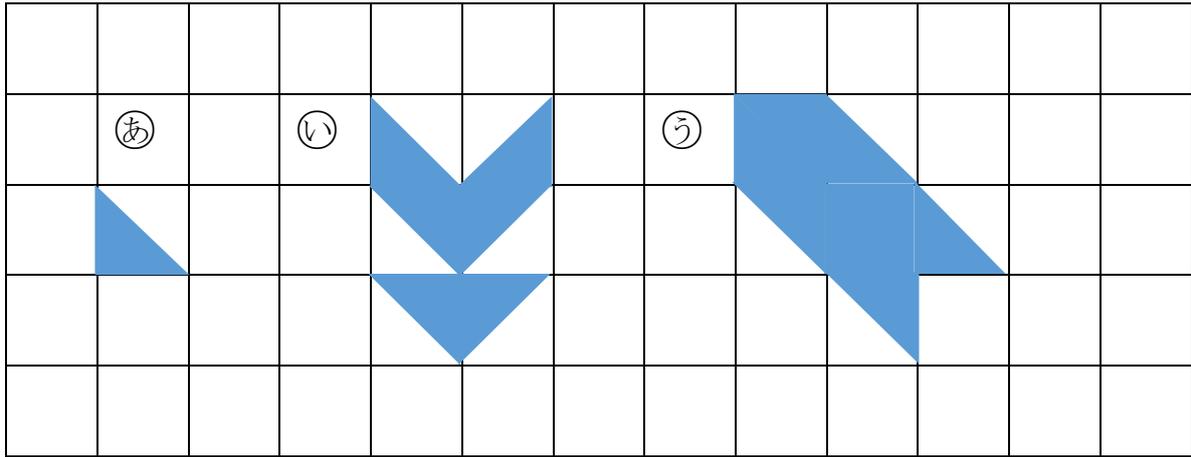
十のくらは - 4 = に なります。



かいとさん

⑭

【7】 いろいろたを つかって いろいろな ^{かたち}形を つくります。㉞の  を ^{なん}何まい つかうと ㉞や㉟の 形が できるか こたえましょう。



㉞ まい ㉟ まい ㉞

【8】 けんごさんと ゆうなさんが ^{でんわ}電話で どちらの ^{すい}水とうの ほうが ^{おお}多く ^{おちゃ}お茶が ^{はい}入るかを ^{はな}話して います。 ゆうなさんの ^{かた}くらはべ方は まちがって います。 どころが まちがっているか せつめい しましょう。

ぼくの 水とうには
コップ4はい分の
お茶が 入るよ。



けんごさん




わたしの 水とうにも
コップ4はい分の
お茶が 入るよ。



ゆうなさん

それなら 同じだけ
水とうに お茶を
入れられるね。




〈せつめい〉

【9】 ☆ つぎの もんだいに こたえましょう。

りくさんの クラスでは みんなが たのしく すごすために 2つの ことを調べ グラフに あらわしました。

- (1) はじめに 休み時間にする すきなあそびと 人数を 調べた けっかについて 話し合いました。この けっかから 分かることとして 正しい ものに 2つ ○を つけましょう。

すきなあそびと 人数

○				
○			○	
○		○	○	
○		○	○	
○		○	○	○
○		○	○	○
○	○	○	○	○
サッカー	おえかき	てつぼう	読書	おにごっこ

- () 読書が すきな人は 2ばん目に すくない
 () サッカーは 1ばん 人気がある
 () しつないの あそびの ほうが 人気がある
 () 外の あそびの ほうが 人気がある ⑱

- (2) この けっかから みんなが たのしく すごす ために おえかき大会をしよう という いけんが 出ました。このいけんに たいして あなたの 考えと そう考えた りゆうを かきましょう。

〈じぶんの 考えと そのりゆう〉

- (3) つぎに クラスで かいたい 生き物と 人数を 調べて グラフに あらわしました。りくさんは グラフを見て 下のよう に 考えました。

かいたい 生き物と 人数

			○
○			○
○	○		○
○	○		○
○	○	○	○
○	○	○	○
ザリガニ	バッタ	ダンゴムシ	カタツムリ

ダンゴムシは 触れない 人が 多い と思うから クラスの 生き物として かわない ほうが よい と思います。



りくさん

- りくさんの せつめいは 正しくありません。その わけを せつめいしましょう。

〈せつめい〉

◎ 調査内容の分析と考察と対策について

1 観点別による全体の傾向と対策 (対象児童 2年 372人)

【思考・判断・表現 (学んだことを日常生活や社会の事象に活用する問題☆)】

問題【9】の⑱⑲について

解答の傾向 (解答数÷全体数×100 下線は正答 以下同様)

- ⑱ 上から2つ目と4つ目に○ (49%) 上から1つ目と2つ目に○ (29%)
上から2つ目と3つ目に○ (4%) 2つ目だけに○ (4%) 無答 (6%)
- ⑲ グラフの特徴に触れた記述がある (31%) グラフの特徴に触れた記述がない (34%)
グラフの特徴には触れているが考えを記述できていない (5%) 無答 (26%)

分析・考察・対策 ⑱⑲は、表やグラフから分かる特徴を考えて、それらを日常生活や社会の事象に活用することができるかを調べる問題である。

⑱の誤答を見ると、「上から1つ目と2つ目に○」と答えた児童が29%いた。さらに、⑱で2つ目が○と気付いた児童は全体の86%であった。このことから、数値の単純な読み取りはできているが、各項目を比較したり、グラフ全体を通して分かることを読み取ったりすることができていないと分かる。また、⑲の誤答を見ると、「お絵描きは楽しいから」「危なくないから」など、「グラフの特徴に触れた記述がない」児童が34%

いた。これは、グラフの特徴を読み取る経験が少なかったり、読み取った特徴を日常生活と結び付けて考えたりすることができていないからだと考える。そこで、表やグラフから分かる特徴を考えて、日常生活や社会の事象に活用できるようにするために、日常生活や社会の事象から問題を見だし、様々な観点から表やグラフを調べて解決する経験を積ませることが必要だと考える。(指導事例参照)

【思考・判断・表現】

問題【8】の⑰について

解答の傾向

- ⑰ 同じ大きさのコップで比べていない (66%) 水筒の大きさに関する記述 (12%) 無答 (17%)

分析・考察・対策 ⑰は、かさくらべの仕方の間違いを説明できるかを調べる問題である。

誤答を見ると、コップではなく、水筒の大きさに関する記述をした児童が12%いた。これは、水筒に入のお茶の量を水筒の大きさだけで判断し、同じ大きさのコップの数で比べるという間接比較をすることの必要性に気付くことができていないことが原因だと考える。そこで、見た目だけではかさが判断しにくく、形状が異なる容器を用意する。大きさの異なるコップを用いてかさを比べ、「どちらもコップの数は同じだから、容器に入るかさも等しいですね」と発問することで、「コップの大きさが違うから比べられない」「コップの大きさをそろえて比べないといけない」など、同じ大きさのコップのいくつかで比べる必要性に気付かせることができると考える。

【9】☆ つぎの もんだいに こたえましょう。

りくさんの クラスでは みんなが たのしく すごすために 2つの ことを調べ グラフに あらわしました。

(1) はじめに 休み時間に 好きなあそびと 人数を 調べた けっかについて 話し合いました。この けっから 分かることとして 正しい ものに 2つ ○を つけましょう。

好きなあそびと	人数	() 読者が 好きな人は 2ばん目に すくない
○ サッカー	○ 1ばん	() サッカーは 1ばん 人気がある
○ テニス	○ 2ばん	() しつないの あそびの ほうが 人気がある
○ バドミントン	○ 3ばん	() 別の あそびの ほうが 人気がある
○ バレーボール	○ 4ばん	⑱ この けっから みんなが たのしく すごす ために おえかき大会をしよう という いけんが 出ました。このいけんに たいして あなたの 考えと そう考えた りゆうを かきましよう。
○ その他	○ 5ばん	() この けっから みんなが たのしく すごす ために おえかき大会をしよう という いけんが 出ました。このいけんに たいして あなたの 考えと そう考えた りゆうを かきましよう。

サッ カー! おえ かき てっ ぼう 読ん だ こと 人数

(じぶんの 考えと そのりゆう)

【8】 けんごさんと ゆうなさんが 電話で どちらの 水とうの ほうが 多く お茶が 入るかを 話して います。 ゆうなさんの くらべ方は まちがって います。どこが まちがっているか せつめい しましょう。

ぼくの 水とうには コップ4はい分の お茶が 入るよ。

けんごさん

ゆうなさん

わたしの 水とうにも コップ4はい分の お茶が 入るよ。

それなら 同じだけ 水とうに お茶を 入れられるわ。

【知識・技能】

問題【3】の⑧について

解答の傾向

- ⑧ 3時間 (63%) 4時間 (12%) 2時間 (5%) 1時間 (3%) 15時間 (2%)
 9時間 (1%) 13時間 (1%) 無答 (5%)

分析・考察・対策 ⑧は、ある時刻からある時刻までの時間を求めることができるかを調べる問題である。



誤答を見ると、4時間と答えた児童が12%いた。これは、午前12時と午後0時が同じ時刻であることを認識しておらず、午前と午後の切り替えが正しくできていないことが原因だと考える。そこで、24時間を表した帯状の図から午前12時と午後0時が同じ位置にあることに気付かせたり、時計の模型を操作する際に午前12時を午後0時とよみ替えて操作させたりすることで、午前と午後の切り替えを正しく行うことができるようになると思われる。

また、2時間や1時間、15時間といった誤答が見られた。これは、家を出る時刻や帰る時刻の短針と長針が混同し、間違えた時間のよみ方をしてしまうことが原因だと考える。そのため、何時を表す短針と何分を表す長針の違いや、時計の1周を短針は12等分、長針は60等分して考えることなどを認識させる必要がある。そこで、時計の絵や模型を使って時刻を考える際、「短い(長い)針は1周で12時間(60分)だから……」と時間と分の基準を確認しながら時刻をよみ取らせることで、短針と長針の理解が深まると考える。

また、2時間や1時間、15時間といった誤答が見られた。これは、家を出る時刻や帰る時刻の短針と長針が混同し、間違えた時間のよみ方をしてしまうことが原因だと考える。そのため、何時を表す短針と何分を表す長針の違いや、時計の1周を短針は12等分、長針は60等分して考えることなどを認識させる必要がある。そこで、時計の絵や模型を使って時刻を考える際、「短い(長い)針は1周で12時間(60分)だから……」と時間と分の基準を確認しながら時刻をよみ取らせることで、短針と長針の理解が深まると考える。

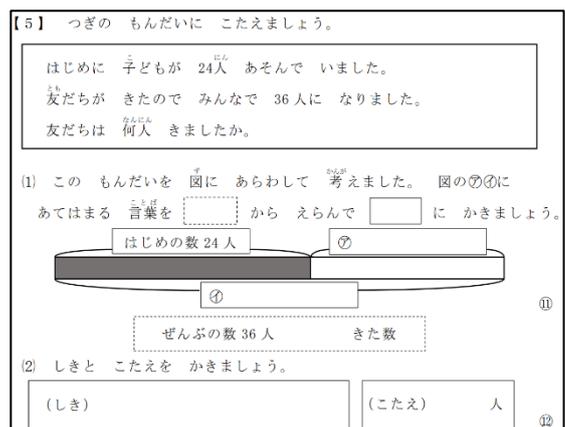
問題【5】の⑪について

解答の傾向

- ⑪ ㊦きた数 ㊧ぜんぶの数 36人 (65%) ㊦ぜんぶの数 36人または㊧きた数を記述 (7%)
 ㊦と㊧のどちらかに正答したが、もう一方を空欄または問題場面にはない数量を記述 (6%)
 問題場面にはない数量を記述 (4%) 無答 (18%)

分析・考察・対策 ⑪は、数量の関係を図に表すことができるかを調べる問題である。

誤答を見ると、㊦にぜんぶの数 36人または㊧にきた数を記述した児童が7%いた。これは、問題場面をどのようにテープ図に表すことができるかを理解できていないためだと考える。しかし、この問題場面にあった式を考えることができるかを調べる問題⑫を正答した児童は、⑪を間違えた児童の40%もいた。このことから、逆思考の問題において、数量の関係を理解して立式することはできても、数量の関係をテープ図に表すことができない児童が多くいることが分かる。そこで、テープ図が数量の関係を正しく表すことができているか確かめる活動を取り入れる。問題場面をテープ図に表すだけでなく、テープ図が問題場面の数量の



関係を正しく表すことができているか考える経験を積ませることで、数量の関係をテープ図に表すことができるようになると思われる。(指導事例参照)

